

羅針盤 第1号

いよいよ3年生です！

今日から新学期！いよいよ高校3年生です！

高校生活も、西浦高校も残り1年しかありません。

早くクラスになじんで、残り1年を充実させましょう。



進路指導室に行こう！

今年の進路指導部の先生と役割を紹介しておきます。

- ・石黒先生（5組担任・英語準備室か2階職員室）は、大学と短大の進学関係
- ・大西先生（4組副担・国語準備室か2階職員室）は、専門学校の進学関係
- ・青木先生（3組副担・化学準備室か2階職員室）は、進学全般と保育体験
- ・山本先生（1階進路指導室か2階職員室）は、就職と公務員、看護、医療関係
- ・学年主任の浅野先生は、進学でも就職でも進路全般について相談にのってくれます。

それから、進路指導室が1階と2階の2カ所にあることを知っていますか？

1階には就職関係の資料、2階には大学・短大・専門学校の資料があります。

でも、普段は鍵がかかっていますので、資料を見たい場合は、進路指導部の先生か担任や学年の先生に鍵を開けてくれるように頼んでください。

進学希望者は、2階進路指導室（生活指導室の東側）へ

2階 ↓ここ

	5組	4組	2C	踊り場	進路	生指	働	働	蛙登	2B	踊り場	3組	2組	1組	2A
--	----	----	----	-----	----	----	---	---	----	----	-----	----	----	----	----

（進学）

就職希望者は、1階進路指導室（生徒下足室の西側）へ

1階 ↓ここ

保健室	校長室	事務室	玄関	会議	会議	働	働	生徒下足室	進路	美術室	相談室
-----	-----	-----	----	----	----	---	---	-------	----	-----	-----

（就職）

進路指導室に入室する時は「あいさつ」、先生と話す時は「敬語」！

社会人になって、まず叩きこまれるのが「あいさつ」と「敬語の使い方」だそうです。

もうすぐ高校を卒業するのですから、社会に出るのにふさわしい敬語やマナーを身につけておく必要があります。敬語は普段から使うようにしないと、すぐには使えません。

だから、職員室に入室する時は「失礼します。〇〇先生いらっしゃいますか」、先生に朝会ったら「お早ようございます」など、敬語を使って先生に話しかけてください。

一年後の自分の姿を想像してみよう！

桜も満開となりました。

この桜が再び花開くのは一年後です。

一年後の自分の姿を想像してみてください。

1年もないから、頑張れるのか？

それとも、1年もあるから、頑張れないのか？

やるかやらないかは、結局自分の気持ち次第です！

あきらめずに進路実現に向けて頑張ってください。

1年先輩には、5回目の就職試験で受かった人、近畿大学を受け続け、最後に合格した人もいます。



進路について考えよう！

一年後の自分はどんなことをしたいですか？

「大学や短大に進学している」とか、「企業や公務員に就職している」とか決まっていますか？でも、それは君たちの最終的な目標ではなく、「どんな人生を送るのか」や「何を生きがいとして人生を送るのか」まで考え、自分の進路を決めなくてはなりません。

①目先のことでなく、自分の人生を考える

友人と一緒に過ごせば楽しい、勉強もだるいと、ただ惰性に流れていても、いずれは自分の人生について考えなければならない時が来ます。今がまさにその時なのです。自分がのぞむ人生を実現するには、どんな進路を選択すべきなのか考えてください。

②生きがいのある人生とは

目標や目的を持って生きることができれば、生きがいのある人生といえるはずです。

「遊んで暮らしていられれば幸せだ」と思うかもしれませんが、遊んで暮らして、本当に幸せだと言えますか？それでは「生きがい」や「幸福感」は得られないはずです。「生きがい」や「幸福感」は、苦労した経験があつて感じられるものです。

③中学校からの進路と高校からの進路の違い

中学校からの進路といえば、ほとんどの人は高校に行くしかなかったはずです。

しかし、高校から進学する学校には、大学も、短大も、専門学校も、職業訓練校もあります。高校からの進路は、一人ひとり違っています。

④どんな仕事に就きたいのか

高校を卒業したら就職しようと考えている人はもちろん、進学と考えている人も、これからどんな仕事に就きたいのかを考えておかななくてはなりません。

⑤どんな仕事に向いているのか

何が好きで、どんなことに打ち込めるのか。どんなことが得意であるのか。これらが自分の適性です。自分の適性にあった仕事、自分に向いている仕事です。

自分がどんな仕事に向いているのかは、自分の適性を知ることから始まります。

自分に向いている仕事を見つけるために、まず、自分を見つめなおしてください。